

公益財団法人まちみらい千代田
第9期第2回評議員会 議事録

1 日時

令和3年12月15日(水)午前9時55分～午前10時55分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 5階506会議室

上記の開催場所に存しない評議員は、当法人所定の Web 会議システムを用いて評議員会に出席した。

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(9名)

鈴木潔(会長)、鎌倉勤(副会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、谷真理子、山本久喜、脇宗一郎

(2) 理事(2名)

立川資久(理事長)、高橋誠一郎(副理事長兼事務局長)

(3) 事務局(3名)

加藤英明グループマネージャー(以下GMという。)、伊澤優GM、本橋千佐子GM

5 議題

[決議事項]

(1) 議案 第5号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について

(2) 議案 第6号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について

[報告事項]

(1) 第9期事業実施状況中間報告

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、事務局が配付資料の確認を行った。定款第25条により、評議員会の議長は会長があたることとなっているが、議案第5号において会長が選任されるまでは、議長が不在のため、事務局が進行する旨を諮ったところ、全員異議なく了承した。

また、Web 会議システムにより、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを確認した。

その後、事務局が立川理事長にあいさつを求めた。立川理事長はあいさつの中で、第9期に取り組んだ事業の概要について、報告を行った。

次に本日の出席評議員について、事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第30条第2項の規定により、本日出席の鎌倉評議員と親泊評議員の2名を提案したところ、満場一致の賛成があり、両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議案の審議に入った。

7 議事の経過及び結果

(1) 議案 第5号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会会長の互選について

高橋事務局長から議案第5号について、提案説明を行った。提案説明後、鎌倉評議員から、引き続き鈴木評議員へお願いしてはどうかとの提案があった。これを出席評議員に諮ったところ、全員異議なく議決し、本人も承諾した。そして、定款第25条の規定により鈴木会長が議長となった。

(2) 議案 第6号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会副会長の互選について

高橋事務局長から議案第6号について、提案説明を行った。提案説明後、谷評議員から、副会長は会長と協力し、緊急時は会長の職務代行も行わなければいけないため、会長に推薦してもらってはどうかとの提案があった。これを出席議員に諮ったところ、全員異議なく、鈴木会長が鎌倉評議員を推薦した。その推薦に全員異議なく議決し、本人も承諾した。

(3) 第9期事業実施状況中間報告

高橋事務局長が第9期事業実施状況中間報告の概要を説明した。詳細については、各GMから担当事業の報告を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、加藤GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、伊澤GMが報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、本橋GMが報告を行った。

なお、報告後に以下のような質疑や意見があった。

(評議員)

マンション安全・安心整備助成について、報告の中で屋上貯水槽へ蛇口を設置することに対して助成を検討しているとのことだったが、対象となるのは屋上の貯水槽のみか。

(事務局)

検討中の事例は、災害時に屋上の貯水槽が原因で漏水等が起きる危険性があり、蛇口を設置することで状況が改善し、マンションの安全・安心な利用につながることから助成対象として検討を進めているところである。屋上以外の貯水槽が助成対象となるかについては、事例ごとに内容を精査し判断する。

(評議員)

防災用品等準備助成の中の災害用資器材等購入費助成について、マンホールトイレ（簡易トイレ）の購入費も助成対象になるのか。

(事務局)

現在実績は無いが申請があれば助成対象とする方針である。事例が発生した際には、内部で協議しつつ対応する。

(評議員)

財団の各事業について、担当者同士で情報交換する場は設けているか。

(事務局)

正副理事長と各グループマネージャーが参加する幹部会議を毎月2回行っている。その中で担当する事業の実施状況や運営方法等を共有している。

(評議員)

インキュベーション施設の連絡協議会等について、単に報告で終わるのではなく、各施設が情報を共有し合い、次へとつなげる場として活用してもらいたい。

(事務局)

意見を参考に活用方法を検討する。また、共有した情報については、財団の中にとどめるのではなく、さまざまな媒体を用いて発信する。

(評議員)

専門家派遣等によるサポートについて、連携されている東京都中小企業振興公社や東京都立産業技術研究センターなどは質の高い支援を提供しているので、引き続き連携を強化して区内企業をサポートしてほしい。

(事務局)

意見を参考に事業を推進する。

8 閉会

以上、本日のWeb会議システムを用いた本評議員会は、終始異常なく議案の審議を終了したので、午前10時55分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長及び評議員がこれに署名、押印する。

令和3年12月15日

公益財団法人まちみらい千代田
第9期第2回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 鎌 倉 勤 ⑩

議事録署名人 親 泊 哲 ⑩